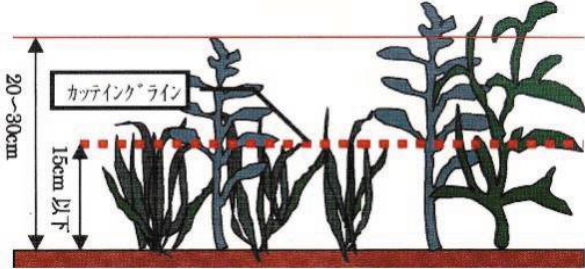


表層攪拌法

月旬 項目	前年9~10月	5月			6月			7月																																																					
		上	中	下	上	中	下	上	中	下																																																			
は種作業	春まき	①前植生枯殺		②石灰質資材散布 ③堆肥散布 ④攪拌・砕土・整地・鎮圧 ⑤施肥・は種・鎮圧			⑥掃除刈り ※広葉雑草の草丈20~30cmの時 ⑦施肥（2番草用）																																																						
	夏まき							（一番草収穫） ※8月末までには種を行うため一番草の収穫は早めに行う		①前植生枯殺 ※雑草草丈40cm以上が望ましい ※充分枯殺させるため処理後10~14日間あける																																																			
主な作業の目安	<p>● 攪拌作業は、ほ場状態により違う</p> <p>ほ場がやわらかい又は冬枯れした若い草地 → ロータリーハロ（1~2回処理） → 鎮 → は種・肥料散布 → 鎮</p> <p>ほ場が硬い又はルートマットが厚い → ディスクハロ（1回処理） → ロータリーハロ（2回処理） → 圧 → は種・肥料散布 → 圧</p> <p>※最近の事例では、逆転タイプのロータリーハロだと1回処理で十分な効果が得られています。</p> <p>● h a 当たりの作業時間例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業工程</th> <th rowspan="2">作業機械</th> <th colspan="2">ほ場が硬い又はルートマットが厚い</th> <th colspan="2">ほ場が柔らかい又は冬枯れした若い草地</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>時間</th> <th>回数</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炭カル散布</td> <td>ブロードキャスタ</td> <td>1回</td> <td>1時間</td> <td>1回</td> <td>1時間</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">は種床づくり</td> <td>ディスクハロ</td> <td>1回</td> <td>1時間30分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ロータリーハロ</td> <td>2回</td> <td>3時間</td> <td>1~2回</td> <td>1時間30分~3時間</td> </tr> <tr> <td>鎮圧</td> <td>ケンブリッジローラ</td> <td>1回</td> <td>45分</td> <td>1回</td> <td>45分</td> </tr> <tr> <td>施肥・は種</td> <td>ブロードキャスタ</td> <td>1回</td> <td>30分</td> <td>1回</td> <td>30分</td> </tr> <tr> <td>鎮圧</td> <td>ケンブリッジローラ</td> <td>1回</td> <td>45分</td> <td>1回</td> <td>45分</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>7時間30分</td> <td></td> <td>4時間30分~6時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 前植生枯殺処理の工程は含まない。</p>										作業工程	作業機械	ほ場が硬い又はルートマットが厚い		ほ場が柔らかい又は冬枯れした若い草地		回数	時間	回数	時間	炭カル散布	ブロードキャスタ	1回	1時間	1回	1時間	は種床づくり	ディスクハロ	1回	1時間30分	—	—	ロータリーハロ	2回	3時間	1~2回	1時間30分~3時間	鎮圧	ケンブリッジローラ	1回	45分	1回	45分	施肥・は種	ブロードキャスタ	1回	30分	1回	30分	鎮圧	ケンブリッジローラ	1回	45分	1回	45分	合計			7時間30分		4時間30分~6時間
	作業工程	作業機械	ほ場が硬い又はルートマットが厚い		ほ場が柔らかい又は冬枯れした若い草地																																																								
回数			時間	回数	時間																																																								
炭カル散布	ブロードキャスタ	1回	1時間	1回	1時間																																																								
は種床づくり	ディスクハロ	1回	1時間30分	—	—																																																								
	ロータリーハロ	2回	3時間	1~2回	1時間30分~3時間																																																								
鎮圧	ケンブリッジローラ	1回	45分	1回	45分																																																								
施肥・は種	ブロードキャスタ	1回	30分	1回	30分																																																								
鎮圧	ケンブリッジローラ	1回	45分	1回	45分																																																								
合計			7時間30分		4時間30分~6時間																																																								

作 溝 法

項目	月旬	5月			6月			7月																																
	前年9~10月	上	中	下	上	中	下	上	中	下																														
は種作業	春まき	①既存植生枯殺			②石灰質資材散布 ③堆肥散布 ④は種・施肥			⑥掃除刈り ※広葉雑草の草丈 20~30cmの時 ⑦施肥 (2番草用)																																
	夏まき							(一番草収穫) ①既存植生枯殺 ※8月末までには種を行うため一番草の収穫は早めに行う		※充分枯殺させるため処理後10~14日間あける																														
主な作業の目安	<p>● haあたりの作業時間例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業工程</th> <th>作業機械</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炭カル散布</td> <td>ブロードキャスタ</td> <td>1時間</td> </tr> <tr> <td>は種</td> <td>ハーバーマツト</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td>鎮圧</td> <td>ケンブリッジローラ</td> <td>45分</td> </tr> <tr> <td>施肥</td> <td>ブロードキャスタ</td> <td>30分</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>4時間15分</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 前植生枯殺処理工程は含まない。</p> <p>● 掃除刈りの目安</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施時期</th> <th>刈り高</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルファルファあり</td> <td>は種後60~80日 雑草の草丈が20~30cm</td> <td>10~15cm</td> <td>低く刈るとアルファルファの再生が悪くなる</td> </tr> <tr> <td>アルファルファなし</td> <td>は種後40~60日 雑草の草丈が20~30cm</td> <td>15cm以下</td> <td>広葉雑草の生長点を刈り取る</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 錆び付いた刃では新播牧草が引き抜かれてしまうため、刈り取り刃を鋭くする。 注2) 刈り取った雑草が多く牧草の再生の妨げになるようであれば、ロールベラーで拾い草地から持ち出す。</p>										作業工程	作業機械	時間	炭カル散布	ブロードキャスタ	1時間	は種	ハーバーマツト	2時間	鎮圧	ケンブリッジローラ	45分	施肥	ブロードキャスタ	30分	合計		4時間15分		実施時期	刈り高	備考	アルファルファあり	は種後60~80日 雑草の草丈が20~30cm	10~15cm	低く刈るとアルファルファの再生が悪くなる	アルファルファなし	は種後40~60日 雑草の草丈が20~30cm	15cm以下	広葉雑草の生長点を刈り取る
	作業工程	作業機械	時間																																					
炭カル散布	ブロードキャスタ	1時間																																						
は種	ハーバーマツト	2時間																																						
鎮圧	ケンブリッジローラ	45分																																						
施肥	ブロードキャスタ	30分																																						
合計		4時間15分																																						
	実施時期	刈り高	備考																																					
アルファルファあり	は種後60~80日 雑草の草丈が20~30cm	10~15cm	低く刈るとアルファルファの再生が悪くなる																																					
アルファルファなし	は種後40~60日 雑草の草丈が20~30cm	15cm以下	広葉雑草の生長点を刈り取る																																					
	 <p>掃除刈りの刈り高</p>																																							

作業暦

8月			9月			10月			11月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下



(2番草収穫)

(スラリーまたは堆肥散布)

- ②石灰質資材散布
- ③堆肥散布
- ④は種・施肥

※スラリーまたは堆肥の散布は次年度に行う事を基本とするが、生育不良が見られる場合は2 t /10aを目安に散布する

● 種子の組み合わせ例

(kg/ha)

時期	チモシー	シロクローバ	アカクローバ	備考
採草地	18	2	0~2	アルファルファを混播する場合は5 kg/ha程度使用する
兼用地	18	2	—	メドウフェスクを混播する
放牧地	18	2	—	場合は3 kg/ha程度使用する

● 施肥例 (イネ科のみの場合)

(kg/10a)

肥料銘柄	施用量	施用量		
		窒素	リン	カリ
BB055P	30	3	4.5	4.5

● 施肥例 (マメ科混播の場合)

(kg/10a)

肥料銘柄	施用量	施用量		
		窒素	リン	カリ
ダブリン	15	—	5	—

注1) 更新時の肥料は、牧草の初期生育に必要な成分です。堆肥やスラリーの施用量とは関係なく必要です。ただし、土壌診断結果でリン酸が特に多い場合などは、リン酸のみ減らすことが可能です。

注2) この施肥例は施肥機能が付いたは種機を使用する場合の使用例です。



シードマチック



施工後25日目